

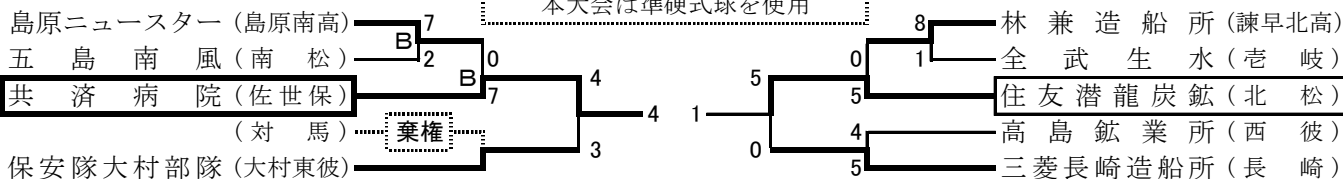
3連覇を狙う北松勢を倒して佐世保共済病院が初優勝

第3回県下郡市対抗準硬式野球大会

会期：昭和28年9月26日(土)～27日(日)

会場：A・長崎市営大橋球場 B・長崎商高グラウンド

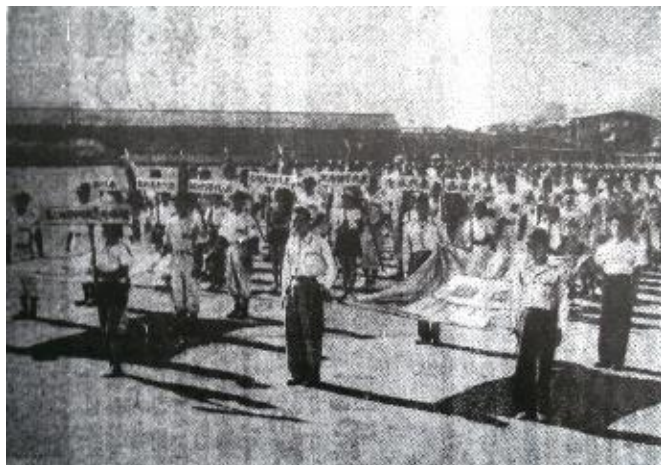
本大会は準硬式球を使用



第3回県下郡市対抗準硬式野球大会は懸念された台風も長崎県地方を避け、快晴に恵まれた26日午前9時から豪華絢爛の入場式を挙行了。天候不順のため棄権した対馬と五島を除く8チームが長崎市警プラスバンドの奏楽に乗り各チーム主将が国旗ならびに長崎日日新聞社旗を手を、入場。次いで前年度優勝地区の北松代表・住友潜龍炭鉱を先頭に、島原南高、佐世保、大村東彼、諫早北高、壱岐、西彼の各地区代表。最後に長崎代表の順にダイヤモンドを一巡して整列し、開会式が始まった。

第1日の入場者に対して日酪牛乳百本、講談社よりお土産品200個「紙製日よけツバ」などが贈られたほか、浜屋デパートをはじめ長瀬ゴム、手島運動具店などから盛り沢山のホームラン賞、殊勲賞、参加賞などの寄贈があり一層の精彩を添えた。

試合は台風により欠航していた五島航路が復旧して来崎中の、五島南風の関連試合を長崎商高グラウンドに移動し変則日程で行なわれた。



長崎日日新聞社旗を先頭に整列した選手団

【武生水】打安点

⑥柴山	4	0	0
⑧林	4	0	0
④武末	4	0	0
①井元	3	0	0
②太田	3	0	0
⑤野元	4	1	1
R綾部	0	0	0
⑦山内	3	1	0
⑨深見	4	0	0
③吉富	4	2	1
33 4 1			

諫早、緒戦を飾る 壱岐 外野陣の拙守に退く

【一回戦】大橋:第1試合(開始10:00) 振球

全武生水(壱岐)	000 000 001	1	6	3
林兼造船所(諫早)	105 002 00X	8	6	7

【評】壱岐は外野レギュラー三羽ガラスの欠場がたたって井元投手のスピード豊かな好投も空しく、再三にわたる外野陣の拙守に壊滅した。

諫早は内外野陣の拙守に助けられて、井元も気の抜いた緩球を左右に流し打ち、三回の大量得点で大勢を決し、後半は第二軍を出し悠々と第一戦を飾った。

【林兼】打安点

⑨石丸	5	1	0
③宮地	3	2	0
④難波	3	0	0
4井原	2	1	0
⑧松本	5	1	1
⑤山田英	1	1	0
5川内	2	1	0
⑦山田	3	0	0
⑥高内	4	1	1
①岩永	2	1	1
1山崎	2	0	0
1吉次	0	0	0
②西川	4	1	2
2富永	1	0	0
37 10 5			

三菱、高島を打ち棄てる

【二回戦】大橋:第2試合(開始12:00) 振球(延長10回)

三菱長崎造船所	000 200 001 2	5	1	4
高島鉱業所	002 001 000 1	4	4	1

【二】三宅高村

【三菱】打安点

⑧木下	5	1	1
④三宅	3	2	0
⑥森	5	2	0
③山口美	5	0	0
①山口茂	4	1	0
⑤山口信	4	0	0
⑨海老原	3	0	0
⑦高村	5	1	0
②大塚	5	3	3
39 10 5			

【高島】打安点

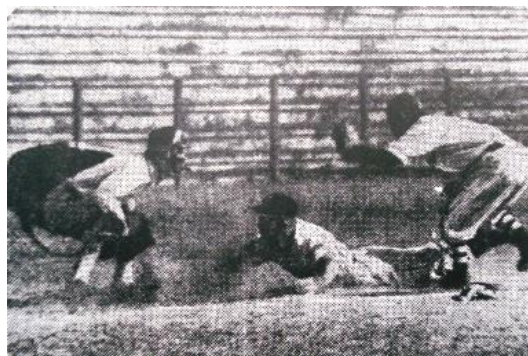
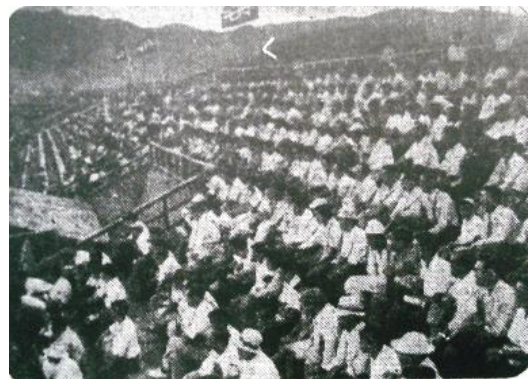
④大庭	5	0	0
⑥長崎	3	0	0
⑤江頭今	5	1	1
⑦渡辺	5	2	2
③福島	4	1	0
⑧木村	4	1	0
②松尾	4	1	0
①中元	4	0	0
⑨江頭宏	4	1	0
38 7 3			

【評】先制したのは三回の高島。一死二三塁に江頭の犠飛と渡辺の適時打で2点を先取。だが三菱は四回に安打と四球の走者を大塚と木下の連打で還して同点に。六回の高島は二死後に福島と木村が連打、続く中飛失により1点を拾い、そのまま押し切るかと思われたが、土壇場の九回に三菱は一死満塁の好機を得て、森の当りは遊ゴロ失を誘って延長戦。

後半に押し気味の高島は十回一死後、平凡な右飛失に恵まれ続く高村の左中間二塁打で二三塁。当たり屋の大塚が左前に2点打した。その裏の高島は二死から長崎が死球、江頭の二ゴロ失と続き、渡辺の中前打で1点差。なおも二三塁とし、一打サヨナラの場面に捨て身のホームスチールは本塁寸前に刺された。

【二回戦】大橋:第3試合(開始14:40) 振球

住友潜龍炭鉱(北松)	100 220 000	5	3	2
林兼造船所(諫早)	000 000 000	0	2	0



【評】住友潜龍炭鉱はさして球威のない林兼造船の岩永、山崎の両投手をよく攻め、好機を確実に握って快勝した。

初回の住友潜龍は奥村の四球を足場に上坂のタイムリーで1点を先取。さらに四回は上坂、高野の連安打に野選を織り交ぜて2点。五回にも菅の内野安打、奥村の遊ゴロ失で無死一二塁のチャンスを迎え、ここで代わった山崎投手に対して上坂と浦田が連安打して2点を追加した。

守っては高野が巧みなコーナーワークで要所を締め、林兼打線を散発6安打に封じ、準優勝戦へ駒を進めた。

4回表の住友潜龍炭鉱、上坂が果敢なホームイン

【住友】打安点

⑥ 菅	5 1 0
④ 奥村	4 1 0
⑦ 高尾	4 1 0
③ 上坂	4 3 1
⑤ 浦川	2 1 2
① 高野	4 1 0
② 本田	4 0 1
⑧ 西村	3 0 1
8 佐藤	1 0 0
⑨ 土橋	4 0 0
35 8 5	

【林兼】打安点

⑨ 石丸	4 1 0
③ 宮地	4 1 0
④ 難波	3 2 0
⑧ 松本	4 0 0
② 西川	4 2 0
⑤ 山田	2 0 0
5 川原	2 0 0
⑦ 山田	3 0 0
⑥ 高内	2 0 0
6 井原	1 0 0
① 岩永	1 0 0
1 山崎	2 0 0
32 6 0	

多数の賞品寄贈

今大会はホームラン賞、殊勲賞、敢闘賞など下の各商店、会社、銀行などから多数の賞品が寄贈された。

(長崎市内)浜屋百貨店、東洋美装店、たての洋品店、松隈ラジオ店、丸松用品店、日酪牛乳、手島運動具店、十八銀行、親和銀行、長崎相互銀行、九州相互銀行、佐賀興業銀行、長崎日日販売所
(東京都)長瀬ゴム、講談社

【島原】打安点

⑤ 真木	5 0 0
⑦ 浜田	4 1 0
⑧ 永池	4 1 0
③ 笹田	4 1 0
3 多田	0 0 0
⑨1 吉田	2 2 1
1 高田	1 0 0
⑥ 原口	5 0 0
④ 荒木	4 1 1
② 松本	3 1 2
① 松崎	0 0 1
9 金子	1 1 0
9 高見沢	0 0 0
33 8 5	

【一回戦】長商:第1試合(開始15:05) 振球

島原ニュースターズ	021 000 400	7	2	7
五島南風	000 020 000	2	5	1

【本】佐々野

【評】島原は二回、五島・佐々野の立ち上がりを攻め、吉田の四球を足場に、松本の中前適時打と松崎のスライズで2点を先制した。三回にも2安打1四球で1点を加え、試合を優位に進めた。

これに対し五島南風は四回まで島原の先発・松崎に抑えられて、一塁を踏む物も無く、ようやく五回に佐々野のランニング本塁打と島原内野陣の混乱に乗じて2点を返して1点差と詰め寄ったが、松崎に代わった吉田に抑えられて加点できず、七回には2安打2四球と凡失により、大量4点を奪われて敗れ去った。

【五島】打安点

⑦ 片山	4 0 0
⑥ 本間	4 0 0
⑧ 川口	4 0 0
① 佐々野	3 1 1
③ 今村	3 0 0
② 副島	2 0 0
⑨ 宮上	3 0 0
④ 森下	3 1 0
⑤ 小西	3 0 0
29 2 1	

【島原】打安点

⑤ 真木	4 1 0
⑦ 浜田	3 0 0
7 多田	1 0 0
⑧ 永池	3 0 0
③ 笹田	3 1 0
①9 吉田	3 0 0
⑨ 金子	2 0 0
9 高見沢	0 0 0
1 高田	0 0 0
⑥ 原口	3 1 0
④ 荒木	3 1 0
② 松本	3 1 0
27 5 0	

竹田が好投、島原を完封

【二回戦】長商:第2試合(開始17:04) 振球

島原ニュースターズ	000 000 00	0	2	2	(日没8回コールド)
共済病院	210 100 3X	7	2	3	【二】太田

【評】共済病院は竹田投手の好投に、打ち気はやる島原打線を散発の5安打に抑えシャットアウトで快勝した。竹田は直球にカーブを巧みに織り交ぜ、バックの好守にも助けられて、二回を除いては島原に全然チャンスを与えず、悠々と完封。

攻めては初回到島原・吉田の立ち上がりを攻めて太田の左翼線二塁打をきっかけに田中の四球を挟んで、徳永と松本の連打で2点先取。さらに二回にも相手内野陣の再三にわたる凡失で1点。四回には重盗で1点と、早くも前半で勝負を決した。

【共済】打安点

⑨ 石田	3 0 0
8 森山	1 1 0
⑨9 藤本	4 0 0
⑦ 太田	4 1 0
④ 田中	2 1 0
③ 徳永	3 2 2
⑤ 松本	4 1 1
① 竹田	4 1 0
② 松尾隆	4 1 0
⑥ 松尾博	3 1 0
32 9 3	

栄冠を追って快晴の秋空のもと、浦上原頭に繰り展げられた激闘の二日間。長崎日日新聞社主催の第3回県下郡市対抗準硬式野球大会第2日は長崎市営大橋球場で準優勝戦と優勝戦が行なわれた。

この日、ファンは県下準硬式野球界ベスト4の激突を見んものと早朝から続々と詰めかけ、試合開始の午前9時には両スタンドとも白一色の盛況。特に第2試

合に地元の三菱造船が出場したため、応援の三菱マンがスタンドの一角に陣取り「三菱がんばれ」の声援しきり。

準優勝戦2試合が終わったあとで、九州地区代表として国体に出場する長崎大学と長崎選抜軍の壮行試合が優勝戦の前座試合としてあり、大いに盛り上がった。
(昭和28年9月28日付けの長崎日日新聞より記事と写真は抜粋)

【準優勝戦】第1試合(開始09:05) 振球

共 済 病 院	001 000 003	4	3	6
保 安 隊 大 村 部 隊	000 003 000	4	2	1

【三】松尾隆 【二】藤本

【共 済】打安点

- ⑨ 石 田 4 1 0
- 9 森 山 1 0 1
- ⑧ 藤 本 5 1 1
- ⑦ 太 田 5 1 1
- ④ 田 中 2 1 1
- ③ 徳 永 3 0 0
- ⑤ 松 本 3 0 0
- 1 竹 田 1 0 0
- ② 松尾隆 2 1 0
- ① 井 上 2 1 0
- 5 松尾武 1 0 0
- ⑥ 松尾博 3 0 0

32 6 4

【大 村】打安点

- ⑦ 下 釜 3 0 0
- ⑤ 山 崎 3 1 0
- ③ 湊 川 4 1 1
- ⑨ 加賀野 1 0 0
- 9 本 田 3 0 1
- ⑥ 松 尾 4 1 1
- ① 新 谷 4 0 0
- ② 猪 俣 3 0 0
- ⑧ 林 3 0 0
- ④ 山 下 3 0 0

31 3 3

(準優勝戦2試合の戦評は記事になし)

【準優勝戦】第2試合(開始11:20) 振球

住 友 潜 龍 炭 鋳	022 000 100	5	5	2
三 菱 長 崎 造 船 所	000 000 000	9	2	1

【三】浦川 【二】浦川2

【住 友】打安点

- ⑥ 菅 4 2 2
- ④ 奥 村 3 0 0
- ⑦ 高 尾 4 1 0
- ③ 上 坂 4 0 0
- ⑤ 浦 川 4 4 1
- ⑨ 高 野 4 0 0
- ② 本 田 3 0 0
- ⑧ 西 村 3 0 0
- ① 土 橋 3 0 0

32 7 3

【三 菱】打安点

- ④ 木 下 4 1 0
- ⑥ 4 三 宅 4 0 0
- ① 6 森 4 1 0
- ③ 山 口 美 4 2 0
- ⑧ 1 山 口 茂 3 0 0
- ⑤ 山 口 信 2 0 0
- ⑨ 海 老 原 2 0 0
- ⑦ 高 野 3 1 0
- ② 大 塚 3 0 0

27 5 0

国体壮行試合	長崎大学	000 000 010	1
	選 抜 軍	301 000 20X	6

佐世保が初優勝 北松、先取点も空しく敗る

【優勝戦】 (開始15:00) 振球

共 済 病 院	000 000 211	4	4	0
住 友 潜 龍 炭 鋳	100 000 000	1	3	4

【三】松尾隆 【二】藤本、太田、竹田、本田、奥村

【評】共済病院は初回の失点に気落ちせず、後半疲れてきた住友潜龍の高野投手よく攻めて初優勝を成し遂げた。

住友潜龍は初回、三遊間安打の菅を手堅く送り二ゴロで三進後に上坂が左前に快打して幸先のスタート。守っては内外角を突く高野の変化球に打ち気にはやる共済打線を抑えそのまま押し切るかと思われた。

ところが共済病院は七回に疲れの見える高野が好球を揃えるところを狙い打ち。太田の左前打を田中が送り徳永の中飛のあと、松尾隆が右中間深く殊勲の三塁打を打ちタイとこぎつけ、さらに気落ちした高野のスピードのない凡球を竹田が中前に快打して勝ち越し点を挙げた。さらに八回にも右安打の石田を太田の左越え二塁打で返し、九回には竹田と田中の連安打でダメ押し点を加え、強豪の北松を撃破し、初優勝した。

【共 済】打安点

- ⑨ 石 田 4 1 0
- ⑧ 藤 本 4 1 0
- ⑦ 太 田 4 2 1
- ④ 田 中 3 0 0
- ③ 徳 永 4 0 0
- ② 松尾隆 4 1 1
- ① 竹 田 4 2 1
- ⑤ 田 中 4 1 1
- ⑥ 松尾博 4 0 0

35 8 4

【住 友】打安点

- ⑥ 菅 4 1 0
- ④ 奥 村 3 1 0
- ⑦ 高 尾 4 0 0
- ③ 上 坂 3 2 1
- ⑤ 浦 川 4 0 0
- ① 高 野 4 1 0
- ② 本 田 4 1 0
- ⑧ 西 村 2 0 0
- ⑨ 土 橋 1 0 0

29 6 1

【表彰選手】

◇最優秀選手賞=竹田投手(共済) ◇殊勲選手賞=松尾捕手(共済) ◇首位打者賞=浦川三塁手(住友) ◇敢闘賞=上坂一塁手(住友)、高野投手(住友)、太田左翼手(共済) ◇努力賞=山口投手(三菱)大塚捕手(三菱)湊川一塁手(大村)

天皇賜杯第8回全日本軟式野球大会【50チーム】

(S28. 6. 26~・山形県鶴岡市ほか)

住友潜龍鋳業所 【一】 0-2 日清紡富山工場(富山)

第8回国民体育大会 一般B(準硬式)【12チーム】

(S28. 10. 22~・徳島県鳴門市)

長崎大学 【一】 0-10 早稲田大学(東京)

第4回西日本準硬式大会【26チーム】 5/2~:愛媛県 ★棄権★